

# あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに  
くもきりむろこけひといぬうへすゑ  
アメツチホシソラヤマカハミネタニ  
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ  
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末  
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太  
ABCDEFGHIJKabcdefghijkl0123456789,!.?\*

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発  
上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんや  
り発車の笛を待っていた。とうに電燈の  
ついた客車の中には、珍らしく私の外に  
一人も乗客はいなかった。外を覗くと、  
うす暗いプラットフォームにも、今日は  
珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、  
檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそ

或曇った冬の日暮である。私  
は横須賀発上り二等客車の隅  
に腰を下して、ぼんやり発車  
の笛を待っていた。とうに電  
燈のついた客車の中には、珍  
らしく私の外に一人も乗客は  
いなかった。外を覗くと、う

或曇った冬の日暮である。  
私は横須賀発上り二等客  
車の隅に腰を下して、ぼ  
んやり発車の笛を待つて

或曇った冬の日暮である。私は横須  
賀発上り二等客車の隅に腰を下して、  
ぼんやり発車の笛を待っていた。と

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等  
客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待つ  
ていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍ら  
しく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗く  
と、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍し  
く見送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れら

或曇った冬の日暮である。私  
は横須賀発上り二等客車の隅  
に腰を下して、ぼんやり発車  
の笛を待っていた。とうに電  
燈のついた客車の中には、珍  
らしく私の外に一人も乗客は  
いなかった。外を覗くと、う  
す暗いプラットフォームにも、